

(2) 生涯学習について

① 生涯学習に関する環境づくりへの満足感

問4 北九州市では、市民センターや生涯学習（総合）センター、図書館等の生涯学習関連施設において、個人の意欲や能力に応じて学ぶことができる生涯学習の推進や、地域活動を支える人材の育成を図るため、ボランティア活動等に関する講座の実施や情報の提供に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 とても感じている	59	4.5
2 ある程度感じている	451	34.1
3 どちらとも言えない	415	31.4
4 あまり感じていない	263	19.9
5 ほとんど感じていない	63	4.8
無回答	71	5.4

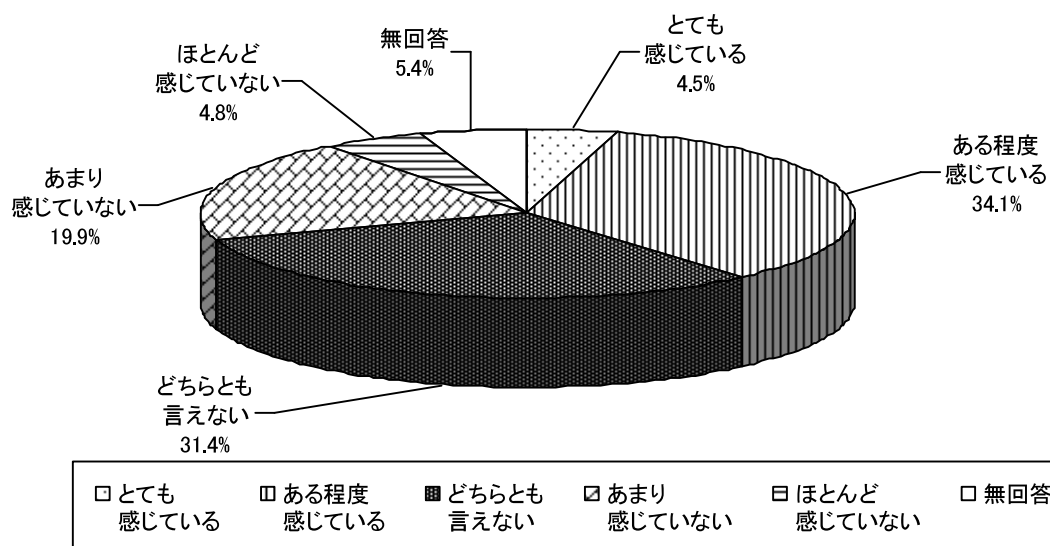
◇ 生涯学習に関する環境づくりに対する、市民の満足感は、

・肯定層 38.6%

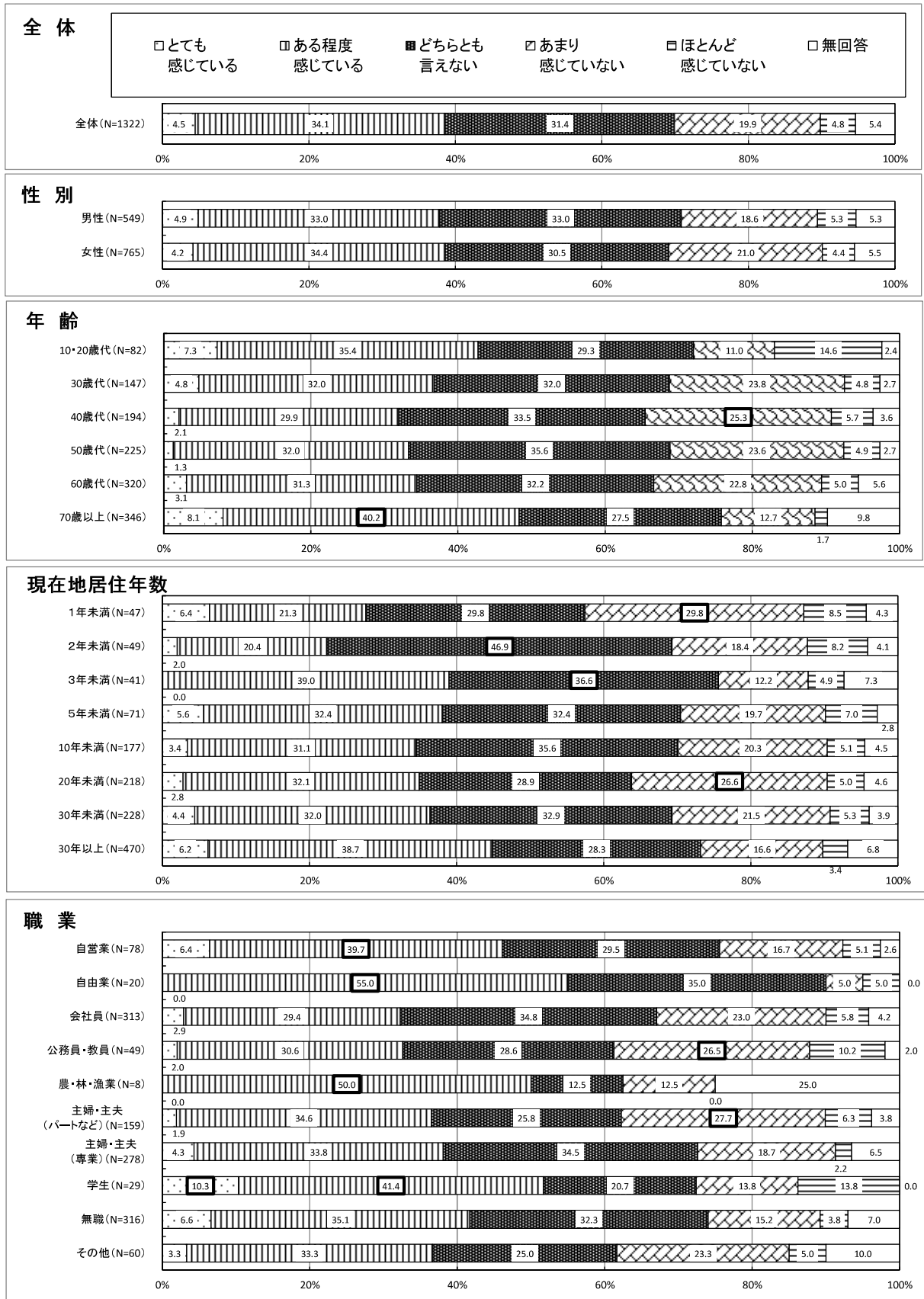
（「とても感じている」4.5%＋「ある程度感じている」34.1%）

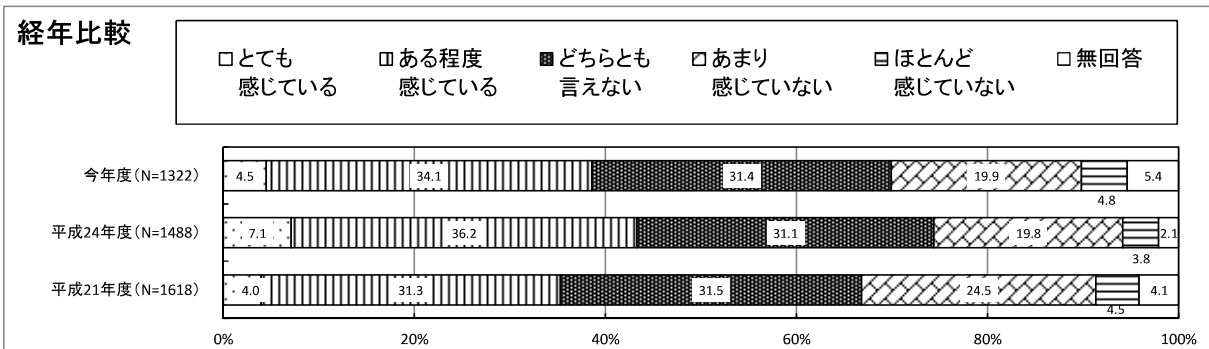
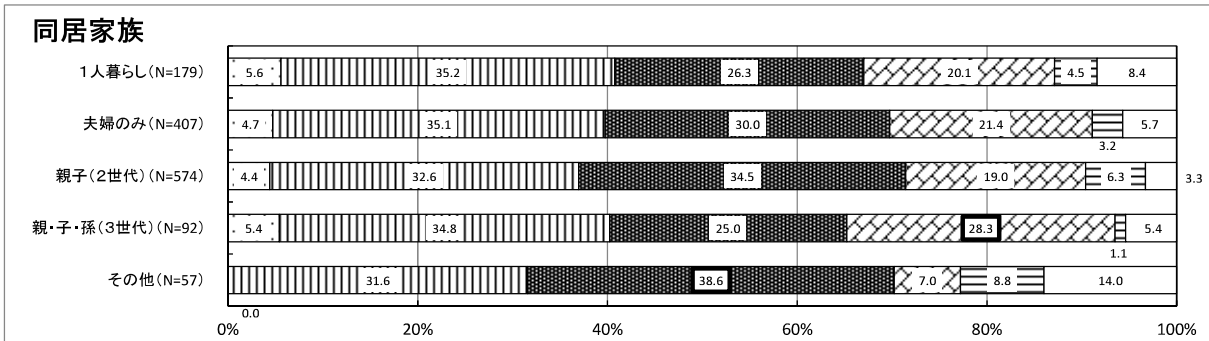
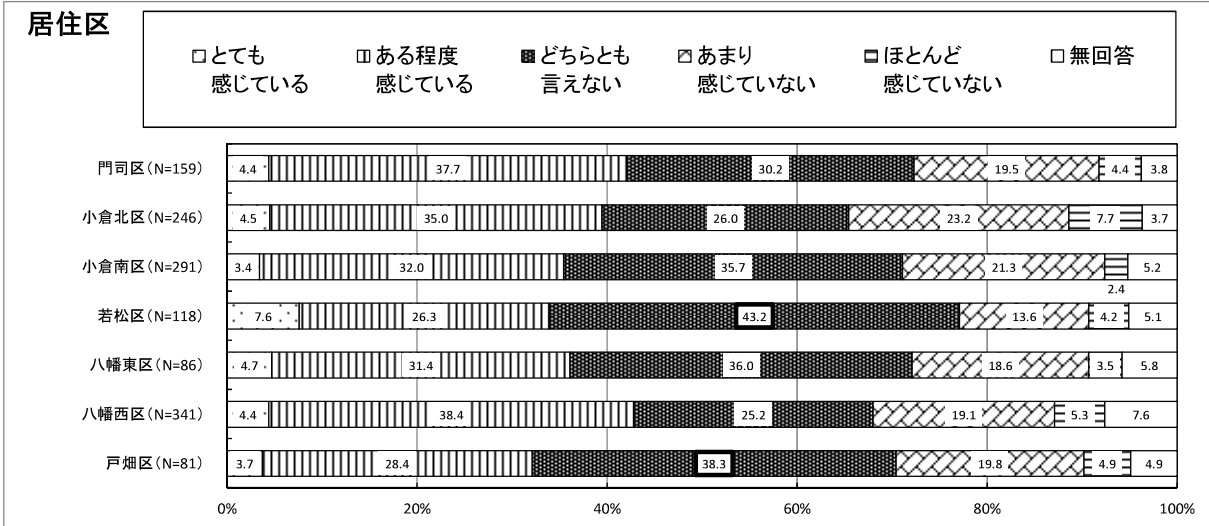
・否定層 24.7%

（「あまり感じていない」19.9%＋「ほとんど感じていない」4.8%）



① 生涯学習に関する環境づくりへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

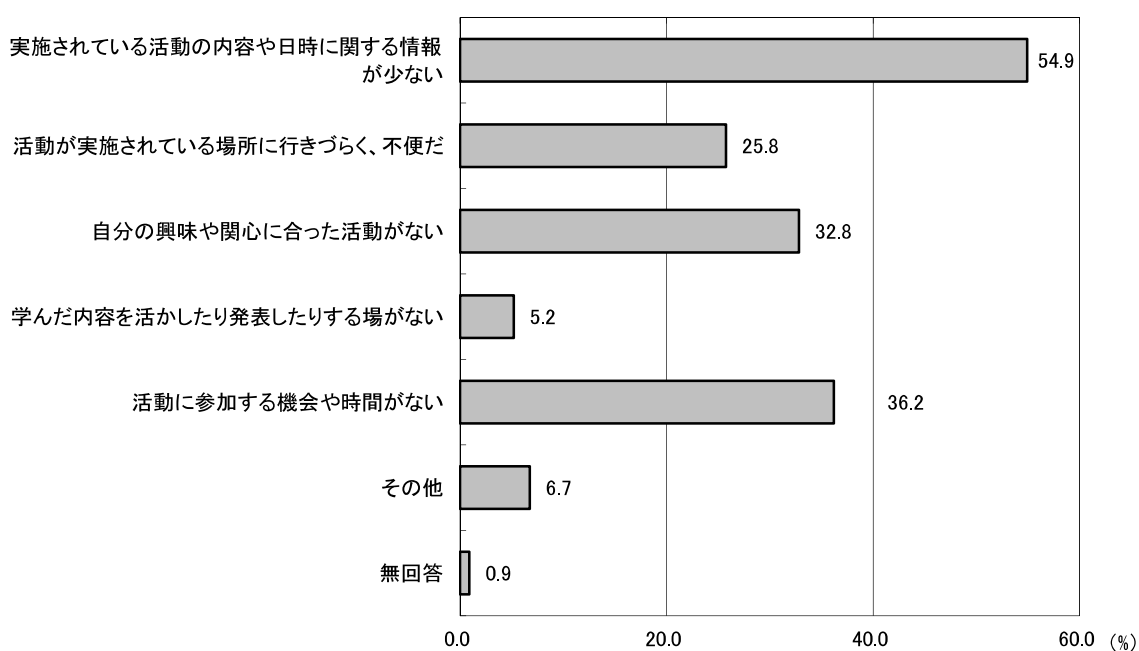
② 生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

副問 4-1 (4もしくは5と選んだ) 理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 326 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない	179	54.9
2 活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ	84	25.8
3 自分の興味や関心に合った活動がない	107	32.8
4 学んだ内容を活かしたり発表したりする場がない	17	5.2
5 活動に参加する機会や時間がない	118	36.2
6 その他	22	6.7
無回答	3	0.9

- ◇ 生涯にわたって自由に学び、活動を行う環境が整っていると感じにくい主な理由は、
- 1位 「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」(54.9%)
 - 2位 「活動に参加する機会や時間がない」(36.2%)
 - 3位 「自分の興味や関心に合った活動がない」(32.8%)



② 生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

		サンプル数	実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない	活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ	自分の興味や関心に合った活動がない	学んだ内容を活かしたり発表したりする場がない	活動に参加する機会や時間がない	その他	無回答
全体		326	54.9	25.8	32.8	5.2	36.2	6.7	0.9
性別	男性	131	54.2	26.7	37.4	7.6	30.5	6.1	0.8
	女性	195	55.4	25.1	29.7	3.6	40.0	7.2	1.0
年齢別	10・20歳代	21	61.9	4.8	52.4	4.8	19.0	9.5	0.0
	30歳代	42	52.4	26.2	31.0	4.8	45.2	4.8	0.0
	40歳代	60	50.0	28.3	20.0	1.7	41.7	13.3	0.0
	50歳代	64	65.6	21.9	32.8	9.4	43.8	3.1	1.6
	60歳代	89	53.9	29.2	34.8	4.5	32.6	4.5	1.1
	70歳以上	50	48.0	30.0	38.0	6.0	26.0	8.0	2.0
現所在地 居住年数別	1年未満	18	66.7	33.3	33.3	5.6	27.8	5.6	0.0
	2年未満	13	53.8	7.7	38.5	0.0	23.1	15.4	7.7
	3年未満	7	85.7	14.3	14.3	14.3	42.9	0.0	0.0
	5年未満	19	63.2	15.8	42.1	0.0	36.8	0.0	0.0
	10年未満	45	64.4	24.4	22.2	2.2	46.7	2.2	0.0
	20年未満	69	59.4	23.2	33.3	5.8	30.4	7.2	0.0
	30年未満	61	42.6	26.2	26.2	6.6	45.9	11.5	1.6
	30年以上	94	48.9	31.9	40.4	6.4	31.9	6.4	1.1
職業別	自営業	17	70.6	29.4	11.8	5.9	41.2	11.8	5.9
	自由業	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	90	52.2	24.4	33.3	7.8	41.1	8.9	0.0
	公務員・教員	18	44.4	22.2	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0
	農・林・漁業	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	54	46.3	20.4	33.3	7.4	35.2	13.0	0.0
	主婦・主夫(専業)	58	63.8	36.2	31.0	1.7	31.0	1.7	1.7
	学生	8	75.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	無職	60	46.7	31.7	36.7	6.7	25.0	6.7	1.7
その他	17	70.6	11.8	35.3	0.0	52.9	0.0	0.0	
居住区別	門司区	38	50.0	36.8	23.7	0.0	52.6	2.6	0.0
	小倉北区	76	57.9	21.1	40.8	5.3	34.2	5.3	1.3
	小倉南区	69	60.9	29.0	24.6	7.2	30.4	5.8	0.0
	若松区	21	42.9	23.8	42.9	0.0	47.6	9.5	0.0
	八幡東区	19	36.8	26.3	26.3	10.5	21.1	15.8	5.3
	八幡西区	83	59.0	27.7	34.9	7.2	33.7	6.0	1.2
	戸畑区	20	45.0	5.0	35.0	0.0	45.0	15.0	0.0
同居 家族別	1人暮らし	44	45.5	31.8	38.6	2.3	34.1	6.8	0.0
	夫婦のみ	100	56.0	29.0	37.0	6.0	30.0	6.0	1.0
	親子(2世代)	145	55.2	24.1	29.0	5.5	40.7	6.9	0.7
	親・子・孫(3世代)	27	59.3	14.8	29.6	0.0	44.4	7.4	3.7
	その他	9	66.7	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

生涯学習に関する環境づくりに対する満足感

【全体的傾向】

生涯学習に関する環境づくりに対する、市民の満足感をみると、「とても感じている」は4.5%、「ある程度感じている」は34.1%、合計すると、肯定層は38.6%である。一方、「あまり感じていない」は19.9%、「ほとんど感じていない」は4.8%、合計すると、否定層は24.7%である。

肯定層（38.6%）が否定層（24.7%）を13.9ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層の割合は70歳以上（48.3%）で最も高く、次いで10・20歳代（42.7%）と、これらの層で4割を上回っている。
- 現在地居住年数別でみると、肯定層は30年以上（44.9%）で最も高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡西区で42.8%と最も高く、戸畑区で32.1%と最も低く、その差は10.7ポイントである。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度（35.3%）から平成24年度（43.3%）は高くなったが、今年度（38.6%）は低くなった。否定層も、平成21年度（29.0%）から平成24年度（23.6%）は低くなったが、今年度（24.7%）は若干ではあるが高くなった。

生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

【全体的傾向】

生涯学習の環境が整っていると感じられない主な理由は、「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」（54.9%）が最も高く、次いで「活動に参加する機会や時間がない」（36.2%）、「自分の興味や関心に合った活動がない」（32.8%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、30歳代から50歳代では「活動に参加する機会や時間がない」が他の年齢層よりも高くなっている。「自分の興味や関心に合った活動がない」は10・20歳代で52.4%と特に高くなっている。
- 職業別にみると、「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」がその他（70.6%）、主婦・主夫（専業）（63.8%）で、他の層に比べて高くなっている。
- 居住区別にみると、「活動に参加する機会や時間がない」については、門司区（52.6%）と、唯一5割を上回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ もっと仕事をもっている人のことを考え土日に活動できるようにしてほしい。
- ・ 一部の人の場になっている。
- ・ 情報が少ない。もっとメディアを有効に使ってほしい。

(3) 地域での支え合いについて

① 地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感

問5 北九州市には、民生委員・児童委員による見守りや自治会・町内会によるふれあいや支え合いの活動、老人クラブによる「友愛訪問」など様々な地域を支えるネットワークがあります。これらのネットワークをさらに結びつけることによって地域における見守り支援体制を充実・強化する「いのちをつなぐネットワーク事業」に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、地域とのつながりの中で安心して暮らせていると感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 とても感じている	85	6.4
2 ある程度感じている	508	38.4
3 どちらとも言えない	354	26.8
4 あまり感じていない	234	17.7
5 ほとんど感じていない	80	6.1
無回答	61	4.6

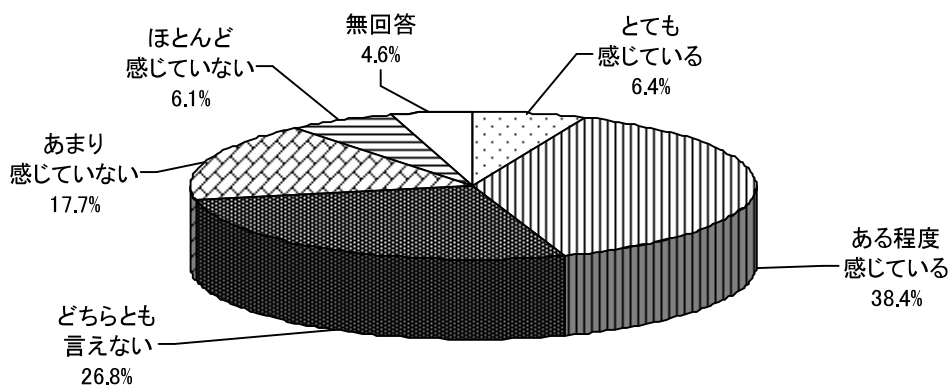
◇ 地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感は、

・肯定層 44.8%

(「とても感じている」6.4%+「ある程度感じている」38.4%)

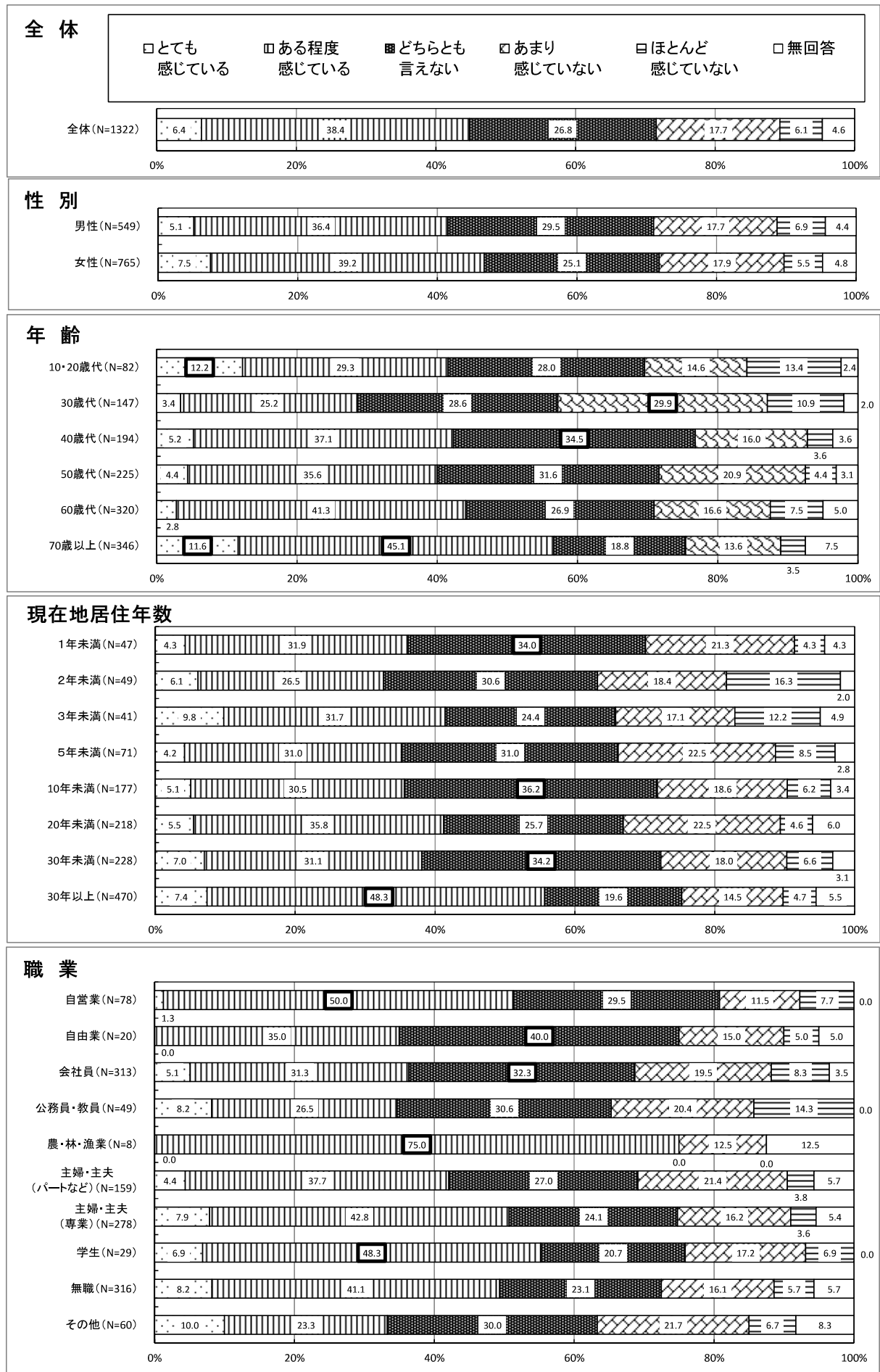
・否定層 23.8%

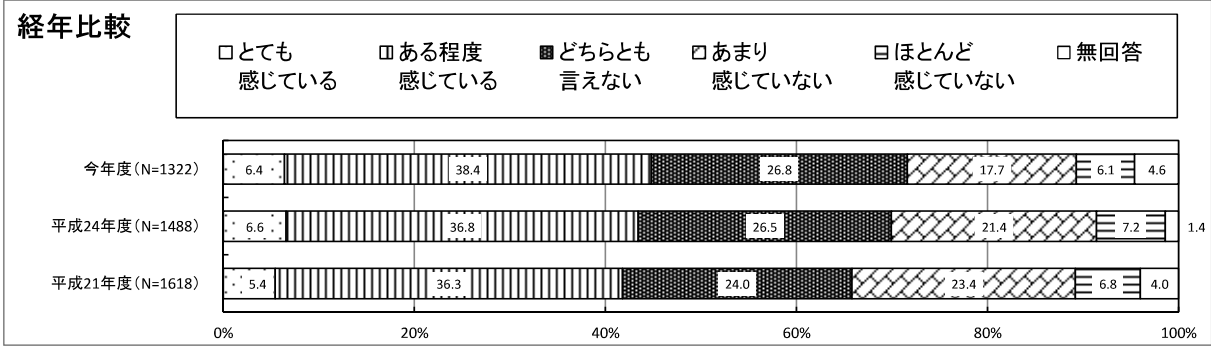
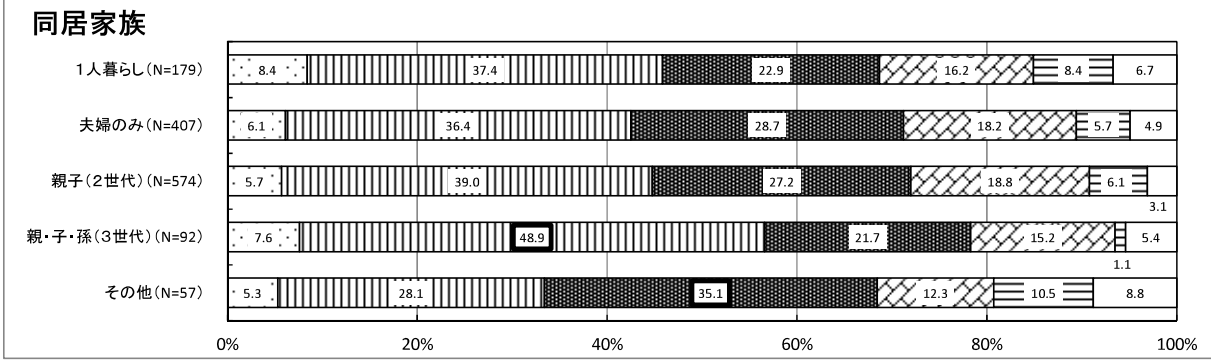
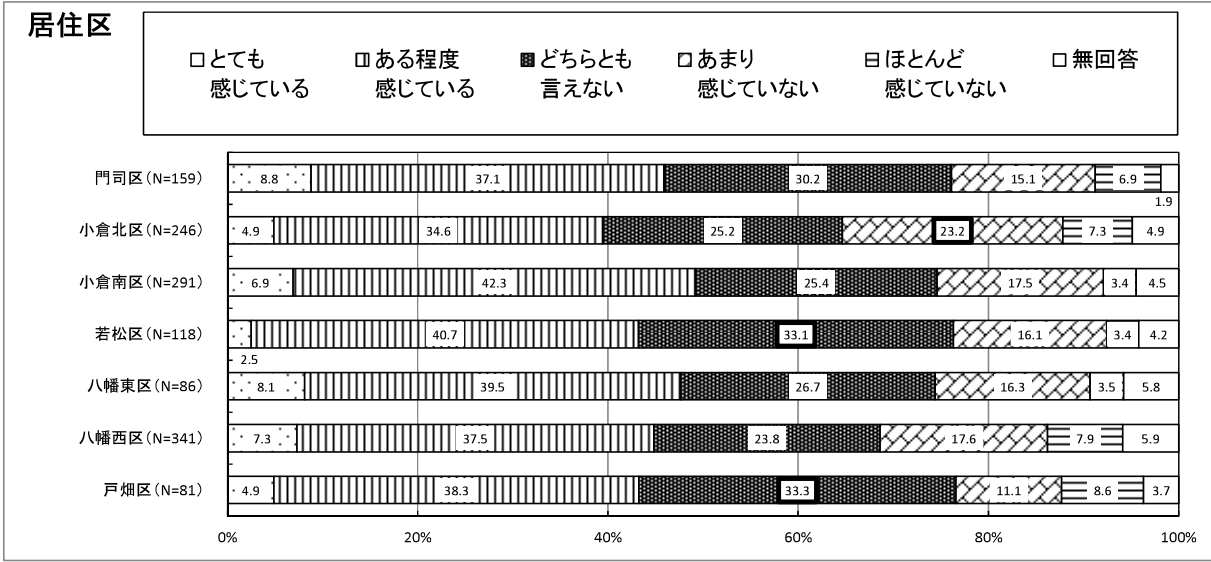
(「あまり感じていない」17.7%+「ほとんど感じていない」6.1%)



とても感じている
 ある程度感じている
 どちらとも言えない
 あまり感じていない
 ほとんど感じていない
 無回答

① 地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

② 地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じにくい理由

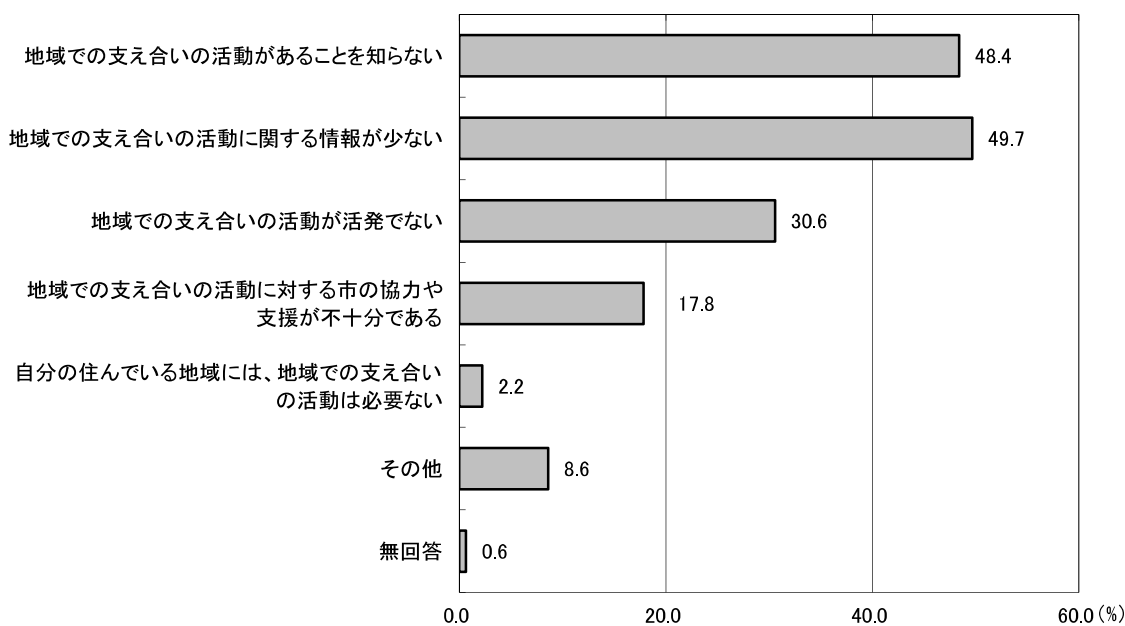
副問5-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 314人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 地域での支え合いの活動があることを知らない	152	48.4
2 地域での支え合いの活動に関する情報が少ない	156	49.7
3 地域での支え合いの活動が活発でない	96	30.6
4 地域での支え合いの活動に対する市の協力や支援が不十分である	56	17.8
5 自分の住んでいる地域には、地域での支え合いの活動は必要ない	7	2.2
6 その他	27	8.6
無回答	2	0.6

◇ 地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じにくい主な理由は、

- 1位 「地域での支え合いの活動に関する情報が少ない」(49.7%)
- 2位 「地域での支え合いの活動があることを知らない」(48.4%)
- 3位 「地域での支え合いの活動が活発でない」(30.6%)



② 地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じにくい理由

		サンプル数	地域での支え合いの活動があることを知らない	地域での支え合いの活動に関する情報が少ない	地域での支え合いの活動が活発でない	地域での支え合いの活動に対する市の協力や支援が不十分である	自分の住んでいる地域には、地域での支え合いの活動は必要ない	その他	無回答
全体		314	48.4	49.7	30.6	17.8	2.2	8.6	0.6
性別	男性	135	48.1	47.4	29.6	17.0	3.0	8.1	0.7
	女性	179	48.6	51.4	31.3	18.4	1.7	8.9	0.6
年齢別	10・20歳代	23	78.3	52.2	30.4	0.0	0.0	13.0	0.0
	30歳代	60	65.0	56.7	16.7	15.0	0.0	6.7	1.7
	40歳代	38	42.1	47.4	28.9	26.3	2.6	10.5	0.0
	50歳代	57	43.9	50.9	26.3	19.3	3.5	8.8	0.0
	60歳代	77	42.9	41.6	41.6	20.8	5.2	3.9	0.0
	70歳以上	59	35.6	52.5	35.6	16.9	0.0	13.6	1.7
現在地居住年数別	1年未満	12	75.0	75.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0
	2年未満	17	64.7	29.4	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0
	3年未満	12	100.0	66.7	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
	5年未満	22	63.6	50.0	40.9	13.6	0.0	4.5	0.0
	10年未満	44	54.5	50.0	20.5	6.8	4.5	6.8	2.3
	20年未満	59	45.8	47.5	28.8	20.3	1.7	11.9	0.0
	30年未満	56	37.5	53.6	37.5	17.9	1.8	8.9	0.0
	30年以上	90	36.7	46.7	37.8	25.6	2.2	10.0	1.1
職業別	自営業	15	73.3	46.7	26.7	6.7	6.7	20.0	0.0
	自由業	4	75.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	87	54.0	42.5	27.6	19.5	2.3	11.5	0.0
	公務員・教員	17	41.2	47.1	35.3	23.5	0.0	0.0	0.0
	農・林・漁業	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	40	42.5	62.5	27.5	20.0	2.5	2.5	0.0
	主婦・主夫(専業)	55	45.5	50.9	32.7	21.8	3.6	1.8	1.8
	学生	7	71.4	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	69	33.3	49.3	34.8	17.4	1.4	15.9	1.4
	その他	17	82.4	58.8	23.5	5.9	0.0	5.9	0.0
居住区別	門司区	35	57.1	48.6	25.7	31.4	0.0	5.7	0.0
	小倉北区	75	48.0	49.3	28.0	16.0	5.3	6.7	0.0
	小倉南区	61	54.1	52.5	23.0	24.6	1.6	3.3	1.6
	若松区	23	30.4	52.2	30.4	17.4	4.3	8.7	0.0
	八幡東区	17	35.3	35.3	64.7	11.8	0.0	11.8	0.0
	八幡西区	87	47.1	55.2	29.9	11.5	1.1	12.6	1.1
	戸畑区	16	56.3	25.0	50.0	12.5	0.0	18.8	0.0
同居家族別	1人暮らし	44	54.5	50.0	27.3	11.4	2.3	9.1	0.0
	夫婦のみ	97	43.3	46.4	30.9	18.6	3.1	9.3	1.0
	親子(2世代)	143	49.7	53.1	31.5	18.2	1.4	7.0	0.7
	親・子・孫(3世代)	15	60.0	40.0	26.7	26.7	6.7	13.3	0.0
	その他	13	38.5	38.5	30.8	23.1	0.0	15.4	0.0

(注) 太字 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感

【全体的傾向】

地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感をみると、「とても感じている」は6.4%、「ある程度感じている」は38.4%、合計すると、肯定層は44.8%である。一方、「あまり感じていない」は17.7%、「ほとんど感じていない」は6.1%、合計すると、否定層は23.8%である。

肯定層（44.8%）が否定層（23.8%）を21.0ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、肯定層は70歳以上（56.7%）で最も高く、次いで60歳代（44.1%）と年齢が高い層で比較的高く、否定層は30歳代（40.8%）で特に高くなっている。
- 現在地居住年数別では、30年以上（55.7%）が特に高い。
- 居住区別にみると、肯定層は、小倉南区で49.2%と最も高く、小倉北区で39.5%と最も低くなっている。
- 家族構成別にみると、肯定層は親・子・孫（3世代）（56.5%）で特に高い。

【経年比較】

今年度の調査結果を、平成21年度及び24年度調査結果と比較したところ、肯定層は、平成21年度41.7%→平成24年度43.4%→今年度44.8%と少しずつではあるが増加基調で推移している。否定層は、平成21年度30.2%→平成24年度28.6%→今年度23.8%と、毎回低くなっている。

地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じにくい理由

【全体的傾向】

地域とのつながりの中で、安心して暮らせると感じにくい主な理由は、「地域での支え合いの活動に関する情報が少ない」（49.7%）が最も高く、次いで「地域での支え合いの活動があることを知らない」（48.4%）、「地域での支え合いの活動が活発でない」（30.6%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「地域での支え合いの活動があることを知らない」は10・20歳代（78.3%）、30歳代（65.0%）、「地域での支え合いの活動が活発でない」は60歳代（41.6%）、70歳以上（35.6%）で高くなっている。
- 現在地居住年数別にみると、「地域での支え合いの活動があることを知らない」は1年未満から10年未満の層でいずれも5割を上回り、居住歴が短い層で高くなっている。一方、「地域での支え合いの活動が活発でない」は5年未満（40.9%）で最も高いが、次いで30年以上（37.8%）、30年未満（37.5%）と居住歴が長い層で比較的高くなっている。
- 居住区別にみると、「地域での支え合いの活動が活発でない」は八幡東区（64.7%）で特に高くなっている。また、「地域での支え合いの活動に関する情報が少ない」は八幡西区（55.2%）で最も高く、次いで小倉南区（52.5%）、若松区（52.2%）と続き、これら3区で5割を上回っている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 知らないうちに支えられているのかもと思うが、つながっているとは感じない。
- ・ 民生委員さんの訪問や声かけが非常に少ない。
- ・ 一人暮らしのため、町内会入会が難しい。

(4) 安全・安心なまちづくりについて

① 犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みへの満足感

問6 北九州市では、市民と行政が一体となり、地域における防犯対策の推進や防犯活動の活発化を図るなど、安全・安心なまちづくりに向けた取組を積極的に進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は、犯罪のない安全・安心なまちづくりに向けた取組が、以前と比べて進んでいると感じますか。

N : 1,322 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 とても感じている	122	9.2
2 ある程度感じている	529	40.0
3 どちらとも言えない	307	23.2
4 あまり感じていない	245	18.5
5 ほとんど感じていない	61	4.6
無回答	58	4.4

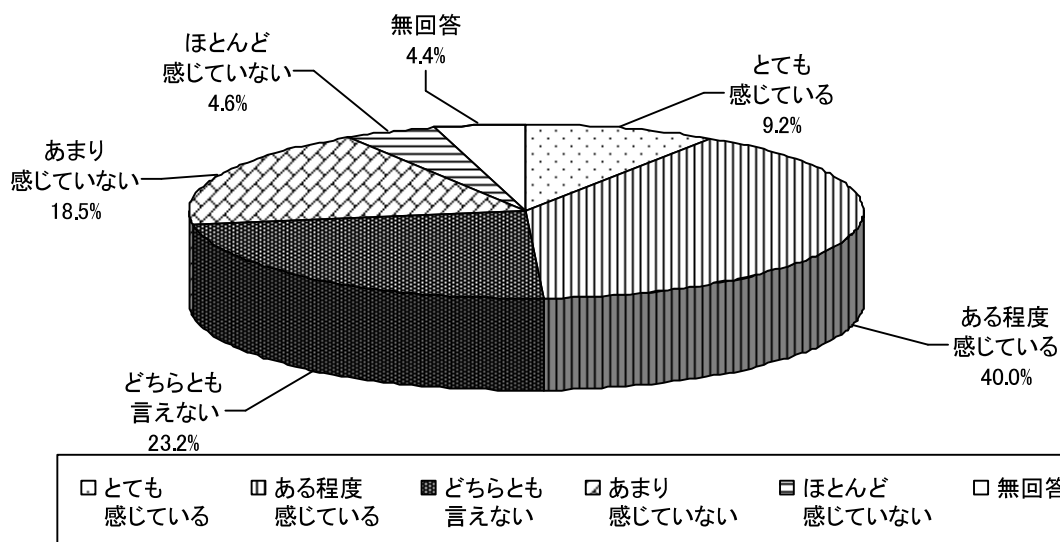
◇ 犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みへの満足感は、

・肯定層 49.2%

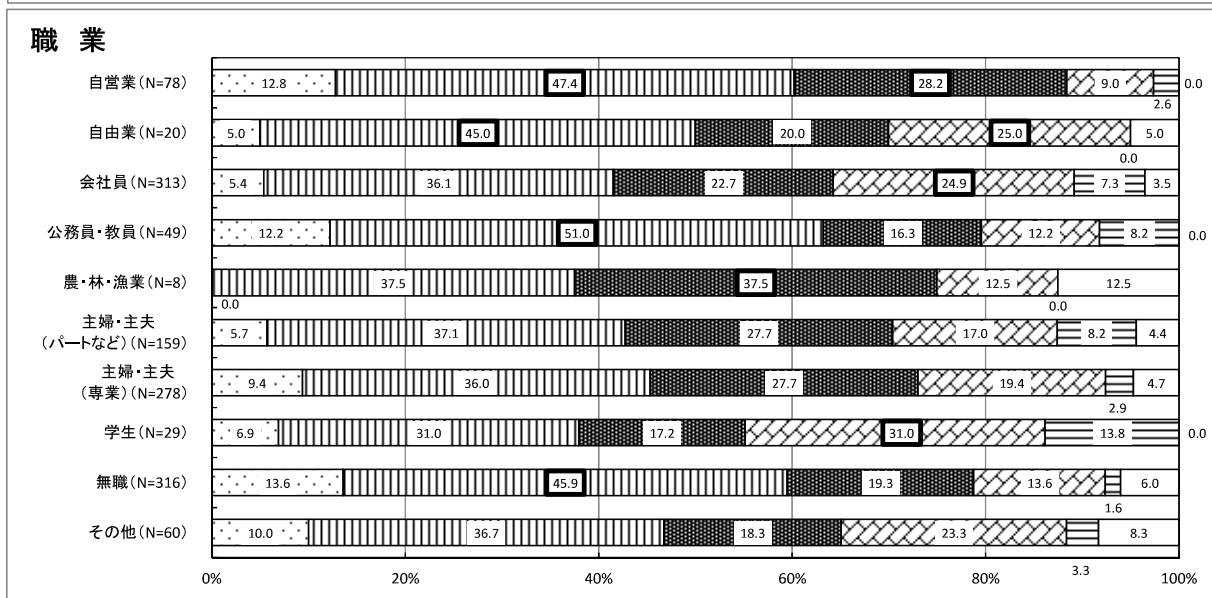
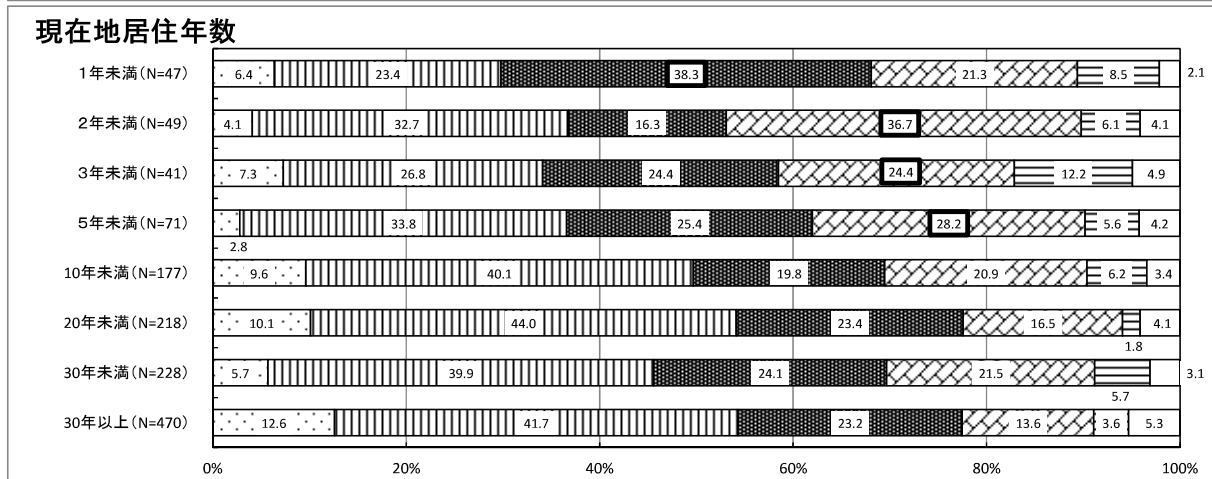
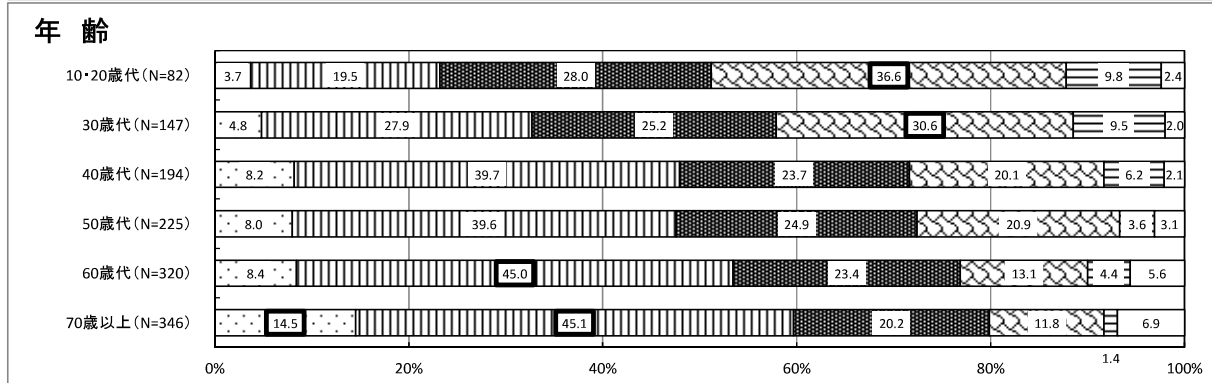
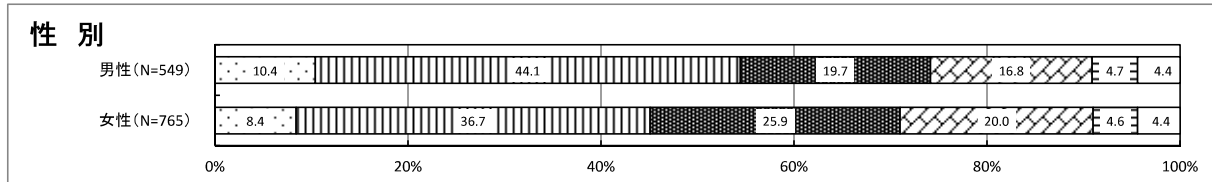
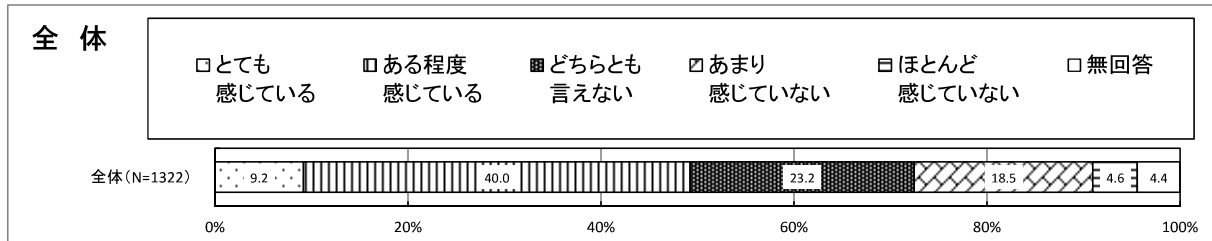
(「とても感じている」9.2%+「ある程度感じている」40.0%)

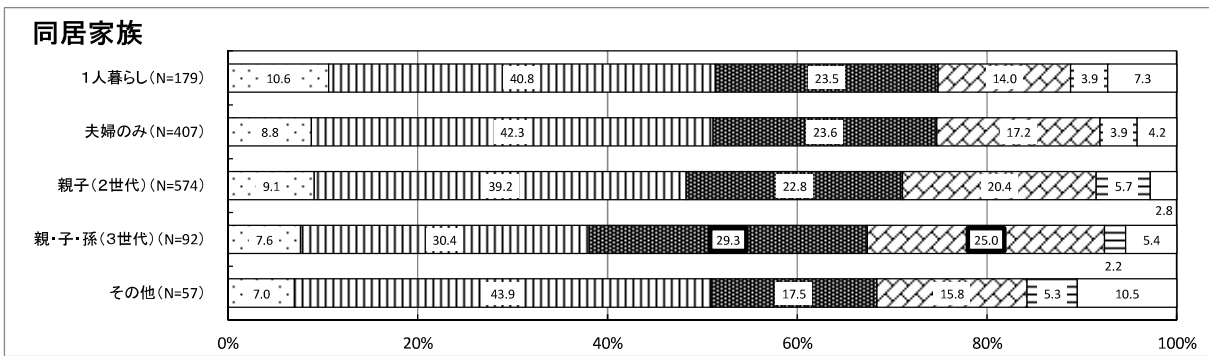
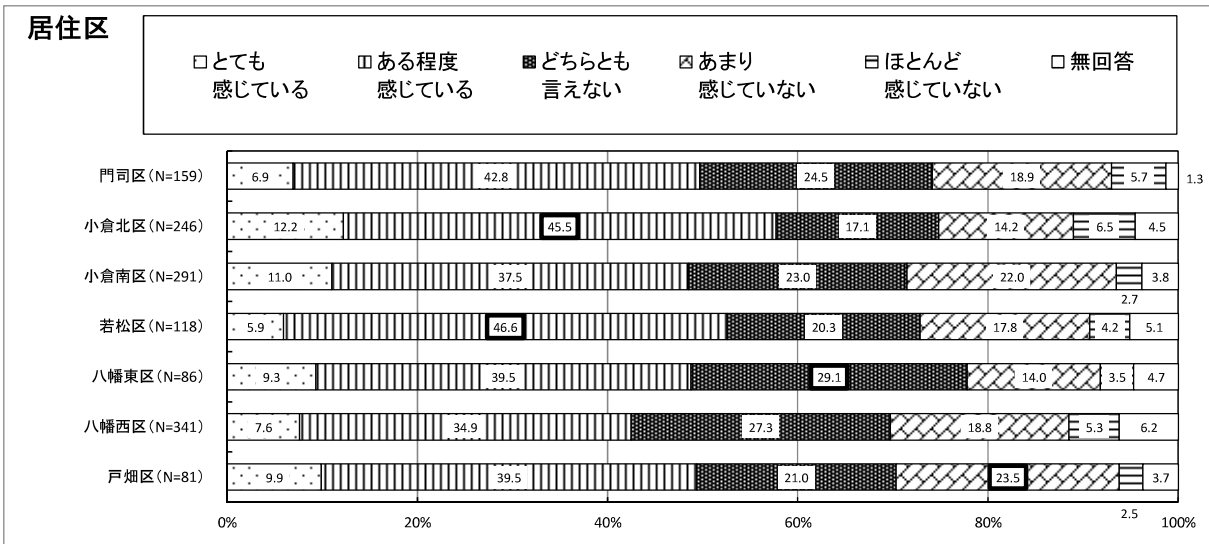
・否定層 23.1%

(「あまり感じていない」18.5%+「ほとんど感じていない」4.6%)



① 犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みへの満足感





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」「無回答」は除く)

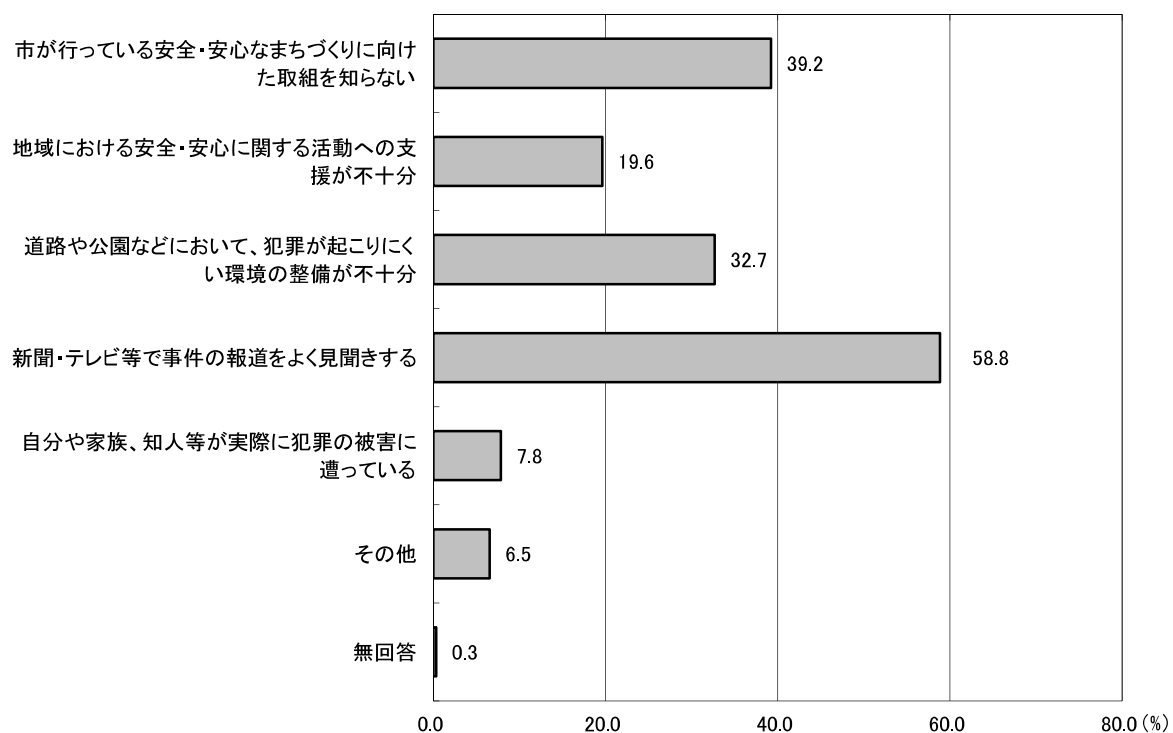
② 犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない理由

副問6-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N : 306 人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない	120	39.2
2 地域における安全・安心に関する活動への支援が不十分	60	19.6
3 道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分	100	32.7
4 新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする	180	58.8
5 自分や家族、知人等が実際に犯罪の被害に遭っている	24	7.8
6 その他	20	6.5
無回答	1	0.3

- ◇ 安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない主な理由は、
- 1位 「新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする」(58.8%)
 - 2位 「市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない」(39.2%)
 - 3位 「道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分」(32.7%)



② 犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない理由

		サンプル数	市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない	地域の支援が不十分	道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分	新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする	自分や家族、知人等に実際に犯罪の被害に遭っている	その他	無回答
全体		306	39.2	19.6	32.7	58.8	7.8	6.5	0.3
性別	男性	118	33.9	23.7	35.6	54.2	7.6	11.0	0.0
	女性	188	42.6	17.0	30.9	61.7	8.0	3.7	0.5
年齢別	10・20歳代	38	47.4	10.5	26.3	57.9	13.2	7.9	0.0
	30歳代	59	32.2	22.0	33.9	61.0	6.8	8.5	0.0
	40歳代	51	29.4	19.6	39.2	56.9	13.7	3.9	0.0
	50歳代	55	50.9	20.0	34.5	56.4	7.3	1.8	0.0
	60歳代	56	42.9	33.9	35.7	55.4	3.6	5.4	0.0
	70歳以上	46	32.6	6.5	23.9	67.4	4.3	13.0	2.2
現在地居住年数別	1年未満	14	35.7	21.4	35.7	42.9	7.1	7.1	0.0
	2年未満	21	28.6	19.0	33.3	66.7	9.5	9.5	0.0
	3年未満	15	33.3	13.3	33.3	60.0	6.7	6.7	0.0
	5年未満	24	45.8	16.7	25.0	62.5	16.7	8.3	0.0
	10年未満	48	39.6	16.7	18.8	60.4	14.6	8.3	0.0
	20年未満	40	40.0	22.5	47.5	55.0	2.5	2.5	0.0
	30年未満	62	35.5	25.8	35.5	59.7	6.5	3.2	0.0
	30年以上	81	44.4	17.3	33.3	58.0	4.9	7.4	1.2
職業別	自営業	9	55.6	22.2	11.1	44.4	11.1	22.2	0.0
	自由業	5	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	会社員	101	29.7	23.8	38.6	58.4	11.9	6.9	0.0
	公務員・教員	10	40.0	40.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0
	農・林・漁業	1	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	40	40.0	17.5	42.5	55.0	2.5	2.5	0.0
	主婦・主夫(専業)	62	46.8	16.1	24.2	69.4	3.2	6.5	0.0
	学生	13	61.5	23.1	23.1	38.5	15.4	0.0	0.0
	無職	48	39.6	12.5	29.2	68.8	6.3	6.3	0.0
	その他	16	43.8	12.5	37.5	56.3	0.0	6.3	6.3
居住区別	門司区	39	41.0	17.9	33.3	43.6	20.5	10.3	0.0
	小倉北区	51	29.4	23.5	39.2	60.8	7.8	9.8	0.0
	小倉南区	72	37.5	22.2	33.3	58.3	4.2	6.9	0.0
	若松区	26	30.8	15.4	26.9	73.1	11.5	0.0	0.0
	八幡東区	15	53.3	13.3	13.3	60.0	0.0	13.3	0.0
	八幡西区	82	46.3	14.6	36.6	57.3	4.9	4.9	1.2
	戸畑区	21	38.1	33.3	19.0	71.4	9.5	0.0	0.0
同居家族別	1人暮らし	32	28.1	21.9	31.3	59.4	6.3	9.4	0.0
	夫婦のみ	86	41.9	16.3	32.6	57.0	5.8	9.3	0.0
	親子(2世代)	150	37.3	19.3	32.7	62.0	10.0	4.0	0.7
	親・子・孫(3世代)	25	60.0	24.0	28.0	52.0	4.0	12.0	0.0
	その他	12	33.3	25.0	41.7	50.0	8.3	0.0	0.0

(注) 太字 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みへの満足感

【全体的傾向】

犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みの満足感をみると、「とても感じている」は9.2%、「ある程度感じている」は40.0%、合計すると、肯定層は49.2%である。一方、「あまり感じていない」は18.5%、「ほとんど感じていない」は4.6%、合計すると、否定層は23.1%である。

肯定層（49.2%）が否定層（23.1%）を26.1ポイント上回っている。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、肯定層は男性（54.5%）が女性（45.1%）を9.4ポイント上回っている。
- 年齢別にみると、肯定層は概ね年齢が高いほど高く、否定層は年齢が低いほど高くなっており、極めて顕著な傾向となっている。
 - 肯定層 →10.20歳代 23.2%→30歳代 32.7%→40歳代 47.9%→50歳代 47.6%→60歳代 53.4%→70歳以上 59.6%
 - 否定層 →10・20歳代 46.4%→30歳代 40.1%→40歳代 26.3%→50歳代 24.5%→60歳代 17.5%→70歳以上 13.2%
- 現在地居住年数別にみると、肯定層は、30年以上（54.3%）で最も高く、次いで20年未満（54.1%）、10年未満（49.7%）と、概ね居住歴の長い層で高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は、小倉北区で57.7%と最も高く、八幡西区で42.5%と最も低く、その差は15.2ポイントとなっている。
- 同居家族別にみると、肯定層は、親・子・孫（3世代）で38.0%と他の層に比べて低くなっている。

犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない理由

【全体的傾向】

犯罪のない安全・安心なまちづくりへの取組みが進んでいると感じられない主な理由は、「新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする」（58.8%）が最も高く、次いで「市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない」（39.2%）、「道路や公園などにおいて、犯罪が起こりにくい環境の整備が不十分」（32.7%）の順となっている。

【属性別にみた傾向】

- 年齢別にみると、「新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする」は全ての層で5割を上回っている。
- 職業別にみると、「市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない」は学生（61.5%）で特に高くなっている。
- 居住区別にみると、「新聞・テレビ等で事件の報道をよく見聞きする」は若松区（73.1%）及び戸畑区（71.4%）で高く、7割を上回っている。また、「市が行っている安全・安心なまちづくりに向けた取組を知らない」は八幡東区（53.3%）で特に高くなっている。

【自由記入欄の回答状況】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 暴力団排除が急務。
- ・ 防犯灯が切れている所が数多くある。
- ・ 駅前など必要な所に警官がいない